

チリー大学海洋研究所

近 江 彦 栄*

H. OHMI: Estacion de Biologia Marina de la Universidad de Chile

1967年9月から12月下旬まで約3ヶ月間チリーで研究を行った間に、2回チリー大学海洋研究所 (Estacion de Biologia Marina de la Universidad de Chile) を訪れて暫らく滞在したので、この研究所について少し紹介して見たいと思う。

この研究所はいつ頃建てられたものか聞き洩らしたが、こじんまりとしたハイカラな一風変わった建築で、通行者の目をひくように海岸の道路にそって建っている。チリーの沿岸線4,200 kmのほぼ中央部に Valparaiso 港があり、それと隣接して Vina del Mar 市があり、研究所はこの市域に属する Montemar という町にある。Vina del Mar は Vineyard of the sea という意味からも推察されるように、風光明媚な遊覧地であり、殊に12月から3月頃までの夏季は海水浴客で雑沓する。Vina del Mar 市内には豪華なりゾートホテルが立ち並んで新市街を形成している。海の色は紺碧に澄んで南仏の Cannes, Nice あたりから Monaco にかけての Côte d'Azur に彷彿たるものがあり、南米のモンテカルロと呼ばれる。

研究所のメンバーは次の通りである。

Name	Speciality	Remark
ANELIO AGUAYO LOBOS	Marine vertebrate	Director
HÉCTOR ETCHEVERRY D.	Taxonomy of algae	
WALTER FISHER KUNTZ	Fish	
ELDA FAGETTI GUAITA	Zooplankton	
FERNANDO BUCKLE RAMIREZ	Echinoderm	
LUIS RAMORINO M.	Mollusc	
KRISLER ALVEAL VILLENA	Taxonomy and ecology of algae	
TARICISCIO ANTEZANA J.	Zooplankton	

* 北海道大学水産学部

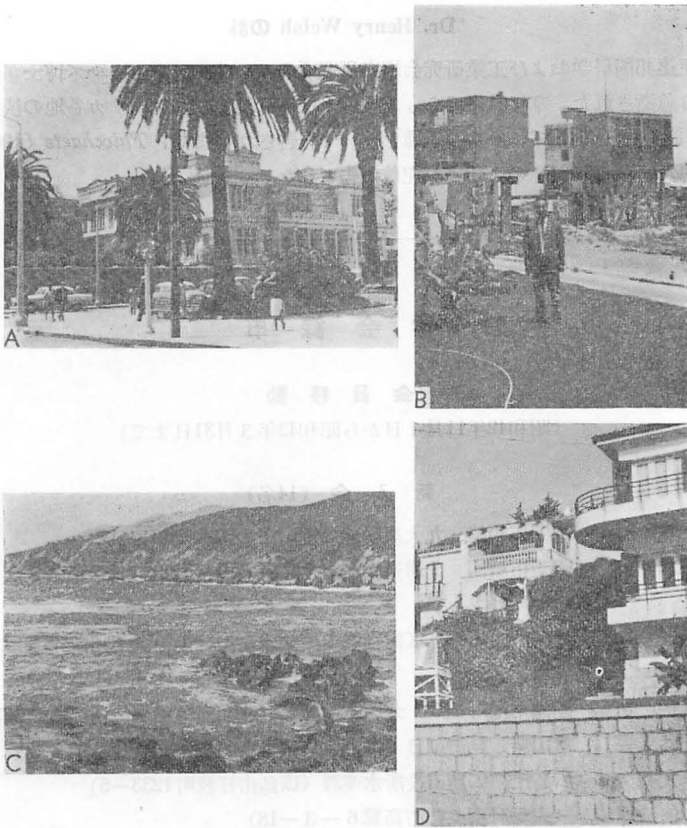
The Bulletin of Japanese Society of Phycology Vol. XVI. No. 1, April 1968

FERMANDO BALBONTIN C.	Fish
SERGIO AVARIA P.	Phytoplankton
MARIANO PIZARRO	Chemistry of the sea
ALBERT NANI	Fish
PATRICIO LABARCA R.	Culture of algae

この外に 3 secretaries, 3 librarians, 5 technicians, 1 photographer, 4 fishermen とモータボートの運転士が1名居り、外に採集船1隻があって、それには船長外4名の船員が居り、合計34名が働いているわけである。その中で Etcheverry は昨年秋に日本を訪問され、神戸の日本藻類学会総会にも出席されたのでお目にかかった方も多いことと思う。昨年9月25日昼頃サンチャゴ空港に着いた時、わざわざ Montemar から出迎えてくれ、海洋研究所に滞在した時も引越したばかりの Vina del Mar のお宅に招いてくれ、85才になる御母堂をまじえて dinner の御馳走になったことは感謝にたえない。海藻の分野では、その外に ALVEAL と LABARCA の2名の若い研究者がいる。ALVEAL は先年 São Paulo 大学の A. B. JOLY のもとで研究して来た人である。

研究所付近は Humboldt Current に洗われるため、夏でも表面水温は 15°C を超えることは殆んどなく、従って海水浴といっても短時間泳いであとは砂浜で甲羅を干したり、皮膚を焼いたりしている状態である。研究所の窓から近くの岩礁に着生する大形褐藻の *Lessonia nigrecens* BORY, *Macrocystis pyrifera* (L.) C.AG., *Durvillea antarctica* (CHAM.) HARIOT などの群落を見ることが出来る。研究所の前の道路はバスや車の往来がはげしいが、この道を距てて斜め向いにチリー大学の guest house があり、ここで暫らく滞在することが出来た。1966年には日高孝次博士夫妻も1ヶ月間ここで滞在されたと聞いた。清潔な設備のよい宿舎で、付近にはブーゲンビリヤやバラが満開で気持ちよく過ごすことが出来た。

この研究所の研究報告は *Revista de Biologia Marina* として1巻1号は1948年4月に発行され、最近のものでは12巻(1, 2, 3号合併)が1965年5月に発行されている。



第1図 A : Vina del Mar 所見, 市内には有名な casino があり, 又大統領の別荘もある。
 B : Estacion de Biología Marina de la Universidad de Chile.
 C : 同上研究所付近の岩礁地帯。黒く見える海藻は *Lessonia nigrescens* と *Durvillea antarctica*.
 D : 向って右手の建物はチリー大学の guest house.